

報 告 書 ・ 議 事 録

公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長 殿

1.実施結果

名称	人材育成委員会女性活躍推進班 (中日本 地域)	会 議 名	平成 30 年度 第 2 回
実施日時	平成 31 年 2 月 9 日 13 時 00 分～17 時 00 分	実施場所	愛知県診療放射線技師会事務所 研修室
出席者	川野 聡子、安井 真由美、加藤 統子、疋野奈央子、北出 真寿美、深田 由香里、 酒井智美、松田 耕		
指名出席	山本 英雄、吉川 典子		
欠席者			
議長・司会	川野 聡子	報告書 作成人	川野 聡子
議 題(項目のみとし、議事内容および結果については 2 号用紙記入)			
議題 1	平成30年度事業報告		
議題 2	平成 31 年度活動方針・事業計画について		
議題 3	第 35 回日本放射線技師会全国大会企画について		
議題 4	第 4 回 Brilliant 7 開催について		
議題 5	その他		
議事内容要約 (250 字以内)			

議 事 内 容

1. 平成 30 年度事業報告

各ブロックより本年度の活動報告がなされた。その中で九州地区・東北地区に関しては JART の助成金（20 万円）の他に地域助成がある。

現在のところブリリアント 7 の事業は CCRT 中の 1 コマで開催しており、会場費などの心配はないが今後もこの方向で行っていくかは、これからの JART の動向によって考えなくてはならない。その場合、今現在、中日本に関しては別途助成金を充てることは考えてはいないが、方針が変更される場合は地域理事より地域会長会議で協議して頂けるとのことであった。

2. 平成 31 年度活動方針・事業計画について

各地域より来年度の事業計画が挙げられた。中日本に関しては来年度も CCRT 中で人材育成に関するテーマで事業を行うことを報告した。

3. 第 35 回日本放射線技師会全国大会企画について

2019 年 9 月 14 日（土）～16 日（月） 埼玉大宮ソニック

この中で 180 名程度収容できる会場で 15 日（予定）にシンポジウムを行う。

内容に関しては事前に各地域より様々なテーマの企画が挙げられた。その中で以前より「JART として妊娠中の働き方についてのガイドラインの作成をする予定はないのか」との問いがあった事もあり、ガイドラインの作成は難しいものの事例集を作る方向で決まっていたが、現在停滞している。そこで 2020 年の全国大会（開催地：仙台）に向けて全国規模のアンケートを 1 年以上の時間をかけて行い、その結果を発表する事としてはどうかとの意見でまとまった。その前段階として、来年度のテーマは「妊娠中の働き方」についてシンポジウムを行う事となった。今年度 CS9（中四国地域）が「診療放射線技師の妊娠・出産に関するアンケート」を行っており、その報告を行ってもらおう。残りの時間を「東北・中日本・南関東・関西」の 4 つの地域がシンポジストを出して発表を行ってもらおう。

中日本としては被ばく線量の測定に関する発表などを行ってはどうかとの意見があり、該当者を選出することとした。

【検討事項】

1. 第 4 回 Brilliant 7 開催について

CCRT 静岡 2019 年 11 月 30 日（土）～12 月 1 日（日） アクトシティ浜松

希望としては 12 月 1 日 午前中に 1 枠（90 分）頂きたい。

今年度のシンポジウムの中で会場内から「新人を教える立場の教育はどうするのか？」という声が出た。それを踏まえて、ターゲットを 30 代～40 代の技師とし「教えるスキル～教え方これでいいの？～」というタイトルでシンポジウムを行う事とした。内容としては「教育できる技師になるには何が必要か？」「グローバル化に備えて、学ぶべきスキルを教えて欲しい」「ハラスメント時代に教えるスキル（困った子に対する教え方）」「やる気スイッチの押し方」などを盛り込んだ講演を最初の 30～40 分程度で行い、愛知県に演者を依頼する事とした。また、聖隷には 1 年目から 8 年目の技師に対して確立されたシステムがあるため、そのシステムに関して静岡代表の疋野さんに発表して頂く。また、三重県にもそのようなシステムを作成している施設が無いか探してみることにした。また、残りの時間でディスカッションを行う。メンバーは講演して頂いた方、発表をして頂く 2 名の発表者（疋野さん・三重県から一人）、愛知県より 1 名、川野の 5 名とする。なお、疋野さん・川野以外の選出に関しては愛知県と三重県で選考し、後日報告することとする。座長は東海より愛知県 安井さんと北陸より福井県 深田さんに依頼する。

2. 中日本地域の今後の活動について

現在、中日本地域の活動は JART からの助成金（20 万円）で賄われている。その中で今年度の支出は 135,500 円であった。（第 1 回会議費 66,420 円 第 2 回会議費 69,080 円）これは全て役員の交通費となっているのが現状である。

今回の代表者会議において地域の会議をイベントと同日に開催しても良いが、学術大会の際は他の会員も交通費等の支給はされていない。女性活躍推進班の委員に会議を行う目的で交通費を助

成金から出すことは不可、との事であった。現在、中日本地域は1回目の会議をCCRT開催中の初日に。2回目の会議をJARTの代表者会議が終わってから(1月か2月)に開催している。この2回目の会議の交通費に関して問題はないが、CCRTと同時に開催している会議に関しては今までは助成金で賄えたが、今後は助成金から出すことは出来ない。その分の交通費を出来れば各県で負担して頂けないか?と山本地域理事に依頼した。また、可能であれば年1回の会議だけでも副代表にも参加して頂きたい。しかし、現状は交通費が代表分しか出ないため副代表が参加した場合実費となっている。この件に関して各県技師会の女性の会からの支出を検討頂けないか山本地域理事から各県の会長に検討いただくよう依頼した。

また、JARTの意向として他に、出来れば講師等で活動費は利用をして欲しいとのことであった。

3. その他

交通費の申請に関しては特急券の原本が必要。コピーは不可であり普通乗車券は不必要。

各県のHPにてBrilliant7の活動や各県の勉強会の案内などを共有して欲しい。

女性活躍推進班もJARTで10年を超える事業である。JART本部と各地域のずれが生じ始めたのも事実である。1期2年なので来年度は現状の活動方向である。しかし、今後は活動の方向性が変わる可能性もある。その場合、中日本はJARTからの助成金がなくなったとしても単独で事業を行う方向でお願いしたいため、山本地域理事より各県との会長会議で総意をえていただきたい。各地域女性活躍推進班の委員はJARTより選出指示を地域理事が受け、各県の会長より推薦をいただいている委員で構成されている。各県の会長もMLには参加いただいているが、各県の代表者より会議報告を会長を通じて各県の理事会で報告を行ってください。

以上